

生きる力を育む

人間作りや人との交流のマナーを学び、地域住民と交流する中で『人と人のふれあい』、『自然と心のふれあい』、『体と土のふれあい』、『作る人と食べる人のふれあい』、『都市と農村のふれあい』を促し次世代に命の大切さ、自然の大切さ、食の大切さを教え、さらに、農村文化を伝え、農村の存在意義を認識させることを目的としています。

少年時代に色々なことを体験したことのある大人は物事を比較する力を持っていて、体験のない少年達は目の前にあることが全てで比較することが出来ないといわれます。『肉体は放って置いても大人になる』『精神は教えなければ大人になれない』のです。